

事務事業チェックシート

事務事業No 597 事業名 中学校国際交流助成事業（姉妹都市、友好都市との交流）

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	2	社会を生き抜く子供たちの学力の育成
施策	2	国内外の多様な分野で活躍できる人材を育む教育の推進
取組方針	1	国際化・情報化に対応した教育の推進
事業種別	継続	
事業期間	～ 永年	
事業実施の根拠法令		
関連個別計画	和歌山市教育振興基本計画	
担当課・担当課長・Tel	学校教育課	東 康修 435-1139
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	教育総務費		
	目	教育振興費		
	大事業	教育振興事業		
中事業	中学校国際交流助成事業			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 和歌山市の中学生・高校生が、外国の生徒と交流することで、広い国際的視野を養う。		全体事業概要 和歌山市とリッチモンド市の中・高校生が相互訪問し、学校交流やホームステイを行い、国際親善に努める。本市の中・高校生が訪問するのは、隔年である。			
	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
リッチモンド市から訪問団が来和し、交流を行った。		和歌山市から中学生がリッチモンド市に親善訪問を行い、交流を行う。	リッチモンド市から訪問団が来和し、交流を行う。	和歌山市から中学生がリッチモンド市に親善訪問を行い、交流を行う。	リッチモンド市から訪問団が来和し、交流を行う。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	465	365	2,257	1,832	420	338	1,728		420	
伸び率(%)	-	-	385.4%	401.9%	▲81.4%	▲81.6%	311.4%	▲100.0%	▲75.7%	-
人件費	正規職員	2,110	2,472	2,353	2,592	2,443	2,576	2,806		2,806
	正規職員以外									
	小計	2,110	2,472	2,353	2,592	2,443	2,576	2,806		2,806
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	465	365	2,257	1,832	420	338	1,728		420	
所要人数(人)	正規職員	0.28	0.32	0.32	0.33	0.31	0.32	0.35		0.35
	正規職員以外									
主な予算内訳	外国出張旅費 1,728千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 渡航回数	回	目標値	0	1	0	1	
		実績値		1			
		達成度(%)		100.0%			
成果指標 渡航時参加者数	人	目標値		30		30	
		実績値		24		32	
		達成度(%)		80.0%		106.7%	
成果指標 来和時参加者数	人	目標値	800		800		
		実績値	1,210		1,340		
		達成度(%)	151.3%		167.5%		

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	カナダ・リッチモンド市とは姉妹都市交流を40年以上重ね、学生同士の定期的な交流も定着している。受け入れの際の学校訪問は、各校とも工夫を凝らした交流プログラムを組んで、意義ある活動となっていることから、継続して実施したい。
見直し・改善内容	訪問時、受け入れ時ともに参加者の満足度は非常に高い。今後もホームステイ受け入れ先の開拓やプログラムの充実に努めたい。